

はじめに

岡山大学では、2009年1月にダイバーシティ推進本部を設置し、同年10月には「岡山大学ダイバーシティポリシー」を策定し、男女共同参画、次世代育成支援、障がい者雇用など、様々な取組を推進してきました。さらに、本学では、岡山大学SDGs 大学経営の改革ビジョンのなかで、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の推進を大学経営改革の重要課題として位置付けています。これは、2015年9月の国連総会において、「誰一人取り残さない」を理念とする「持続可能な開発目標(SDGs)」が全会一致で採択され、D&Iのさらなる推進が世界的に求められていることを受けたものです。

このような中で、2020年度を迎えるにあたり、本学は「ダイバーシティ&インクルージョン企画推進委員会」を設置し、岡山大学におけるD&Iの現状と課題を確認するとともに、「岡山大学ダイバーシティ&インクルージョンポリシー」の策定に向けた検討、さらに、第4期中期目標期間における具体的な取組事項についての議論を行ってまいりました。

この一環として、教職員・学生を含めた全学の構成員を対象に広くダイバーシティに関する意識を問い、岡山大学のD&Iに関する現状を把握することで今後取り組むべき課題を明確にするために、「ダイバーシティに関するアンケート」調査を実施いたしました。貴重な時間を割いてご回答くださった皆様に、心より感謝申し上げますとともに、ここに調査結果の報告書を公開する次第です。また、本学では2009年にも「岡山大学の男女共同参画に関するアンケート調査」を行っており、10年の本学のD&Iの取り組みを反映してどのような変化が起こったか、という観点での比較解析も行いました。

本報告書のとりまとめにあたっては、調査票の作成に携わった片岡仁美(主に第3,4章担当)、中谷文美(主に第3,4章担当)、樋口千草(主に第5章担当)、池谷航介(主に第6章担当)の4名(ダイバーシティ&インクルージョン企画推進委員会アンケートワーキング・グループ)が主な調査項目別の分析と報告書の分担執筆を行ったほか、第3,4章の分析・グラフ作成・レイアウトでは時信亜希子助教にご協力いただき、さらに、藤井和佐教授からは調査票作成、集計・分析にあたってのアドバイスを頂きました。

ダイバーシティ推進本部では、本調査結果を第4期中期目標期間における本学のD&Iの取組みの立案に役立てるとともに、今後の活動に有効に活用し、本学のD&Iポリシーに基づき、本学が「多様な属性・個性を持つ一人一人の構成員が、互いの価値を理解し合い尊重し、それぞれの特性を生かして共に成長できる大学」となるべく、活動を進めてまいります。

2023年1月